

KNC NETWORK NEWS

2018年6月16日 発行

経営一言:「必要最小限ということは、実は、自分の基準を持つことなんです。」

(しづ(渋谷 直人氏)「手ぶらで生きる」著者・ミニマリスト)

—所長コメント:以前に「断捨離」という言葉がはまりました。モノを減らし、モノを持たないことは、無駄な家事も時間も場所もとられないこととなります。無駄をはげば余裕が生まれます。必要最小限のモノ以外は不要品といえます。—



(有)北野財経システム

税理士法人 Y. K. C.

大阪市淀川区西中島 7-1-26

オリエンタル新大阪ビル 707号

TEL: 06-6304-7857・FAX: 06-6304-8851

<http://kncc.co.jp>

気になる記事:米朝「完全非核化」確認、共同声明。体制保証を約束、時期や検証は先送り。

トランプ米大統領と北朝鮮の金正恩(キム・ジョンウン)委員長は12日、シンガポールで初めて会談した。両首脳は北朝鮮が「朝鮮半島の完全な非核化」に取り組み、米国は体制保証を約束することを柱とした共同声明に署名した。ただ非核化の具体策は盛り込まず、今後の協議に委ねた。トランプ氏は会談で日本人拉致問題を提起した。

飲食代と交際費 《税務》

会社が支出した接待費用のうち、取引先との飲食の費用が1人当たり5千円以下の支払いは、全額を「飲食費」や「会議費」として損金にできます。1人当たり5千円以下と言っても、1次会で5千円、2次会で5千円と会場を移して支払えば、1人あたり1万円以上を全額損金にすることも可能です。

ただし、1次会と2次会を開催したといっても、同一の飲食店で、2回に分けて支払っているだけだと、上限は5千円となります。たとえ領収書が2枚あっても合計額で見ます。国税庁では、「連続する飲食が『一体の行為』と認められるとき」は合算して判断するとしています。

参加者1人当たりの飲食代が5千円を超えれば全額を交際費に計上します。交際費に計上することになっても、全てが損金不算入となるわけではありません。会社が支出した交際費のうち800万円以内の額は無条件で損金にできます。また、交際費の中の「接待飲食費」の半額を損金とすることもできます。摘要できるのは「800万円までの交際費」と「接待飲食費の半額」のどちらかに限られ、接待飲食費だけで1600万円を超えるなら半額の800万円以上を損金にできますので、後者を選択した方が有利となります。とはいえ、国税庁の資料によると資本金1億円以下の会社が支出した交際費額は平均122万9千円に過ぎません。1600万円を超える接待飲食費を払えるのは一部の大企業だけとみられます。

社員に自社商品を低価格で提供、給与課税の境界線 《税務》

社員に自社商品を無料もしくは安価で提供すると、税務上では現物給与の支払いとみなされ、給与課税の対象になります。安価かどうかの境界線は通常の販売価格の「7割」で、それ以上のお金を受け取っていれば給与課税はされません。

ただし、商品の提供が一部の社員に限られていると、販売価格の7割以上のお金を会社が受け取っていても、その人への現物給与となり、源泉徴収が必要になります。また、自社商品の提供の数量が、一般の消費者が通常使う量と比べて多すぎると税務署に判断されると、給与課税されてしまいます。社員への割引販売の際にはこれらのルールを踏まえて行うようにしたいものです。

個室に入院、1日6千円必要な「差額ベッド」とは 《税務》

入院の際に大部屋でなく個室を選ぶと、通常の入院費用に加えて「差額ベッド」の代金を病院から請求されます。差額ベッド代の対象になる部屋は、①ベッド数が4床以下、②一人当たりの免責6.4㎡以上、③ベッドごとにカーテンなどでプライバシー確保、④私物収納設備、照明、机といすの配置—とされています。厚生労働省によると、差額ベッド代の平均は1日6千円程度。中には1日で30万円以上を請求する病院もあります。

重い負担を確定申告の際に医療費控除を適用することで緩和したいところですが、差額ベッド代金は控除対象になりません。また健康保険も適用外で高額療養費などとして補助を受けることはできません。

厚生労働省の規定により、病院に設置できる差額ベッドは全てのベッドの数の最大5割までと決められています。

商売の効率性とゆとり 《経営》

吉村昭著『その人の想い出』(河出書房新社)の中に、紡績工場を経営していた父親のこんな教訓があります。「父は創業時代、借金をしたこともあったが、必ず返済日の一日前に金を持って行ったという。また注文を受けた製品は、納入日の午前中に注文主のもとに搬入した。午後は翌日にぞくしている、という考えからであった」と。

代金決済のほとんどが訪問によって行われていた時代は、態度や言葉によって人や企業の性格が如実に表れたものです。集金人が来ると必ず値引を求める人がいたり、必ず一定の割引をして帰る人がいたりしました。越中富山の置き薬屋が先用後利の理念で繁盛したのも、単に後払いが歓迎されただけではなく、精算集金に来ると景品等のおまけを付けたからでしょう。二宮尊徳(金次郎)は「富貴貧賤の解(分かれ目)」の中で、富貴になるコツは、やるべき辛い事(勤苦と言う)を本来より多目にやり、やっても良い楽な事(好楽と言う)を本来より少なめにする心掛けと教えています。貧賤はこの逆をすれば必ずやって来ます。

今後、商売上の各種しくみは高度な技術でシステム化され、益々効率性が追求されます。反面、人は融通性(心のゆとり)を求めて、人としての思い遣りや心の触れ合いを今以上に大事にする事もまた確実です。

KNC NETWORK NEWSへのご意見・ご質問・ご感想は

06-6304-7857 または kaikei@kncc.co.jp

までお寄せください。